

## 氷見市立湖南小学校（4年生）

### ●実施状況(概要)

- ・湖南小学校4年生の児童が、学校周辺の農業用水路で、県内で数が減っているマシジミなどの生き物の生息状況を調べました。
- ・学芸員の指導に従って、班ごとにマシジミやカワニナの個体数と大きさを記録しました。
- ・タモ網を使った魚の捕獲では、ドジョウやヤリタナゴ、ハゼなどが見付き、あちこちで歓声が上がっていました。
- ・水質調査として、簡易測定器(パックテスト)により、CODやpHなども測定しました。

場 所 : 氷見市寺飯久保地内

実 施 日 : 平成24年7月4日(水曜日)  
平成24年10月18日(木曜日)

参 加 者 : 湖南小学校 4年生 36人  
教員 2人  
氷見市学芸員 他 11人

計 49人

活動内容: 水質調査、生き物の採捕、観察、記録、  
捕獲生物の説明

捕獲生物: ドジョウ、ヤリタナゴ、ハゼ、メダカ、  
モズクガニ、ザリガニ、マシジミ、イシガイ  
ドブガイ、カワニナ



### ●参加児童の感想(抜粋)

4年生 男子児童

モズクガニが採れてびっくりした。  
貝や魚もいっぱい採れてうれしかった。

4年生 男子児童

長靴の中に水が入って、ぐしょぐしょになったけど、お魚がいっぱいいて楽しかった。

4年生 女子児童

ヤリタナゴが前回より大きくなっていて、用水で魚が育つ餌があることがわかった。